

『技術者のための海岸工学』 正誤表

頁 数	誤	正
12 頁 下から 6-7 行目	十分に発達した風波に対しては $\gamma=1$ を, 数千 km 伝播したうねりに対しては $\gamma=10$ を選べば良い.	γ の設定には経験則 [$\gamma \approx 90 \times (H/L)$] を使える.
98 頁 式 (3.3) 2 行目	$U(X, \tau) = \frac{3}{2} \gamma^2 \frac{2\pi}{T_L} Xu$	$U(X, \tau) = \frac{u(x, t)}{1.5 \gamma^2 \frac{2\pi}{T_L} x_{bm}}$
108 頁 表-3.1 上から 7 行目	$h/H_{1/3}$	$b/H_{1/3}$
135 頁	(3)大口径部材に作用する波力	(2)と重複のため削除
263 頁 式 (7.5)	$F_H = \frac{p + p_b}{2} \times h' + \frac{p + p \times \frac{h_c}{\eta'}}{2} \times h_c$	$F_H = \frac{p + p_b}{2} \times h' + \frac{p + p \times \frac{\eta' - h_c}{\eta'}}{2} \times h_c$
352 頁下から 10 行目 353 頁上から 8 行目 356 頁下から 6 行目	屈折計算箇所 の 総数	回折計算箇所 の 総数
404 頁 索引「た」の 項、上から 5 行目	たかし高潮	高潮